

●植物部会を8日（木）午後1時30分から開催

山下、伊藤、近藤、高田、中村、山村、播川、白木で開催。初めに木津川堤防における植物管理の維持保全について一覧表の整理の必要性が話し合われました。やましろ里山の会が発足して間もないころに木津川堤防で花散策を行っていた頃から観察が始まって、2000年頃から徹底して木津川の植物の観察調査が開始され、82ヶ所の維持管理場所が徐々に確定され、2007年に調査個所が確定し、木津川の草花たちが発刊されました。その後、幾度かの一部修正が行われ、堤防強化工事も実施され、生育状況が大きく変更しています。一部強化工事が残されていますが、かなりの部分で再生が始まっています。典型的なのがタヌキマメで2016年に7月に2年間見られなかったものが復元してきています。そのほかにも新しい生育地も見つかり、移植保存地も作られてきました。こうした実態を集大成した一覧表の作成を行うことになりました。これまでイヌナズナやイヌハギ、スズサイコ、レンリソウやタヌキマメの分担についても再確認しました。貴重な植物の保存維持管理にさらに邁進することを確認しました。

●木津川希少植物保全管理表の確定

917種の生育確認がされ、82ヶ所の維持管理について、これまで数回一斉調査を行ってきましたが、12月26日（月）午前9時30分から82ヶ所の確認を行います。中では明示杭の欠落箇所に補充補強を行い、図面と現地の一致を図ります。この日のお手伝いをぜひお願いいたします。まさに第2期の植物管理維持体制の確立を図ります。堤防の強化工事もわずかになり、新しい再生が始まっていますので、ご協力をお願いいたします。

●京都府環境フェスタが9日に前日準備が行われる

播川、森島、芳川、伊藤、青代、山村が参加して展示物の張り出しと、松かさツリーづくりの体験場所の設営です。今年は農産物の販売部分を中止しましたので、準備作業は随分と軽くなり13時から初めて15時に完了しました。これまでは他の出店や張り出し作品を見て回る時間など全くありませんでしたが、今回の作業軽減によって多くの皆さんの取り組みを見学させていただくことができました。

●初日は午前9時に集合

深田、播川、大村、芳川、吉村、山田、近藤、黒光、山下、小林、橋口、伊藤さんで松かさツリーづくりの担当をしました。毎年のことですが徐々に子どもたちの参加が減少しています。朝からは、まさに手持無沙汰でお客さんが寄り付きませんでした。森さんの孫やその友人の若手が第1号でした。これ以後少しずつ、賑わってきました。ミニステージ発表が13時30分から開始されました。竹蛇籠の取り組みについて小林君が橋口君と組んで発表してくれました。この場所での取組で背景に竹蛇籠の横断幕を使いました。張り出す装置がなかったのでスタッフによる手持ちで演出しました。なかなかいい背景で手づくりの雰囲気うまうまできていました。いい発表でした。この日は熊森協会、京都大学生存権研究会、和束中学や笠置中学、京都サイクリング協会さんと交流を深めました。

●京都府環境フェスタ二日目は

順調に行けば問題なかったのですが、アクシデントが発生していました。木津川市山城町で開催の山城の博覧会で綿菓子と展示物の張り出しに加えて「松かさツリーづくり」体験の場所が設定されているので取り組むことになっているので、急遽その対策を進めなければならなくなりました。松かさは草内の倉庫にあって、ナンキンハゼの実がすべて竹田の会場に持ち込んであったので、運び出しのために走りました。何とか会場の10時前に届けられて間に合いました。こうした往復をしている間パレスプラザの環境フェスタでは播川さんの孤軍奮闘で出店準備を進めていました。大変な作業だったと思います。本当にご苦労様でした。松かさづくりでは昨日と同じように小学生や幼児の参加は大変少なく、日曜日なのに閑散状態で、賑わいという感じは見られませんでした。

里山の会は二日目もミニステージでの発表が15時から担当しました。小林君による竹蛇籠の取り組みの内容が大きく改善されて、随分と分かりやすく編集されました。会場の雰囲気や参加者に対しての工夫

がされました。中西康太君の発表は聞く人々に大きな感激を与えるものでした。木津川レンジャーや里山のリーダーに質問すると丁寧に知らないことをたくさん教えてくれた。多くの事を知っているお兄さんや世話役の人たちのすごいところを沢山わかって感激した。こうした素晴らしい人たちを目指したい。そしてこのすごい自然・山や川を大切にしていきたいといった内容でした。こうした小学生の出現にこれまでの苦労が吹っ飛んだように思えました。この発表を聞いて大きな激励を得たようです。里山の会から康太君に心から…ありがとう!!!

●12月の最初の朝市が11日に開かれた

寒さ厳しい師走の朝、開催されました。里山農園からは子芋やハウレンソウ、菊菜など8種類の野菜を並べました。厳しい寒さなのでと懸念していましたが、なんと40分でほとんどが買い求められました。気温がすっかり低くなったこの時期に元気に生育した新鮮で無農薬の野菜が届けられました。こうして買い求めていただく皆様がおられることは生産者にとって大変激励になり、ささやかですが栽培に力が入るものです。お客様あつての栽培です。ありがとうございました。

●京都府山城振興局主催の山城はくらん会が

11日午前10時から木津川市山城町アスパアで開催されました。綿菓子 活動紹介の展示 松かさツリーづくりなどで準備を進めてきました。ところが先にも書きましたが、前日準備の中で、申込事項と現場とのミスマッチ（空き店舗の発生）が分って、当日の早朝に工夫凝らし修復して対応して無事に乗り越えられました。常にミスマッチは発生するものですが、常に全体計画を見えるかして情報の共有化などを図ることの大切さが反省です。参加して多くの皆さんと顔見知りになって、里山の会への理解をいただくいい機会でした。寒い屋外で長時間の綿菓子づくりをサポートしてくださった小川さんと森さんのお孫さんにお礼申し上げます。また大勢の人を相手に松かさツリーづくりの世話を一日中手伝っていただいた小川さんや深田さんお疲れでした。寒い中でのご奮闘ありがとうございました。この金土日の三日間に300人以上の方々とつながりが深められ、入会者を迎えられる成果の大きい取り組みとなりました。

●里山農園ナラ枯れ木の伐採の下準備

下草刈り（里山手入れ）を12日に計画していましたが、フェスタの後始末で里山農園には行けませんでした。13日はあいにく雨天で足元の心配があつて山には入れませんでした。14日はマラソンの提案資料の作成で、やはり山には入れませんでした。木曜日には何としても予定していますが2時間ぐらいの時間しか取れず、予定している成果を上げられないと思います。それでも何とか工夫しようと思っています。もし時間が取れるお方がおられましたら、ぜひ一緒にしてくださいお願いいたします。昆虫観察会には安全度をアップしたいものです。

冬の昆虫観察会 参加者募集中

国蝶 オオムラサキの幼虫観察
カスミサンショウウオの棲みか調査
指導 桜谷保之先生 前近畿大学教授

集合 12月17日(土)午前10時 普賢寺小学校前
解散予定 ①12時 ②14時30分(弁当持参)
服装 持ち物 長靴 手袋 帽子 水筒 カメラ 筆記具
小学生以下は保護者同伴

炭焼き体験 原木から切り出し

里山農園周辺の樹木を切出す作業

参加者募集
なら枯れ木伐採 丸太切り 運び出し 小枝始末
日時 12月17・18日 10時~14時
集合 普賢寺小学校前 または里山農園
持ち物 手袋 しっかりした靴 帽子 のこぎり
用意できればチェーンソー
小学生以下は保護者同伴